

みんなとともに笑顔いっぱい — 「101」新たなステージへ —



# みんなとともに



5月7日になっての“空気感”の違いに驚きました。「緊急事態宣言」は継続されていますが、その先に向かって“社会”が動き出したようです。学校も「臨時休校」が継続していますが、「分散登校」という形を通して「学校再開」へ向けての一步を踏み出します。「新しい生活様式」を子どもたちとともに理解しながら、“新しい学校文化”として根付かせていく必要を感じています。



## 「学校再開 Q&A」

5月18日から「分散登校」が始まります。6月1日からの本格的な学校の再開に向けて、段階的に教育活動を回復させていきます。さて、ここでは、保護者の皆様からの質問に答えることにしました。（あくまで想定です）

### Q1 新型コロナウイルス感染症に関して「学校の安全」は保たれていますか。

A 臨時休校期間中も、外部の方の校内への立ち入りを遠慮いただく、消毒作業を行うなどして、ウイルスを校舎内に入れないように努めてきました。現在、本校関係者に感染はなく、安全な環境が保たれています。今後もこの環境を保つためには、検温など体調の把握に努め、本人や家族に発熱等の症状がある場合は「休む（登校しない）」という選択をすることが大切だと考えています。

### Q2 「分散登校」にあたっての「具体的な対応」を聞かせてください。

A 本校の「分散登校」は、「学年で登校日を分ける」形で行います。特に、少人数指導を選んでいる「1・2・5年」はさらに「2教室」に分けての指導を行います。単学級の3年と4年は、教室内の机の配置を工夫します。その他の面は、これまでどおりですが、「新しい生活様式」を具現化させていきます。

### Q3 臨時休校期間が長く「学習面」が心配です。大丈夫でしょうか。

A 4月に入ってからの学習課題は、「学びを進める課題」を出してきました。登校再開後は、これまでの課題への定着状況を確認しながら、どちらかという「補う指導」を重点的に行っていきます。7月末を目安に“通常の進度”に戻し、2学期以降は「さらに力をつける指導」をしていきたいと考えています。

### Q4 「授業の時間」を増やすための工夫は、何か行うのでしょうか。

A 「指導面での工夫」とともに、「授業時数」もできるだけ回復させていきたいと考えています。例えば、本校の「日課表のよさ」を生かして、上学年では、基本的に午後の1コマ（6校時）を授業とし、クラブ活動や児童会活動を7校時目に行うことも検討しています。

### Q5 運動会や修学旅行などの「行事」は今後どうなるのでしょうか。

A 学校が再開したからといって「新型コロナウイルス感染症」の脅威が全くなくなってしまうわけではありません。まずは、安全な環境に配慮して、学校の中で「やるべきこと」にしっかり取り組んでいきます。行事については、まだ“白紙の状態”です。今後検討していきますが、例年と同じ内容ではできないことをご理解いただきたいと思います。

### Q6 緊急事態宣言が「解除」される動きもあるようです。そのときに何か「変更」はありますか。

A 「学校再開」となった場合も、5月中は当初の計画どおりの「分散登校」を行います。ただし、「登校日」扱いから「授業日」扱いに変わります。また、「学校を居場所とする児童の受け入れ」についても継続します。その際は、1年生には教職員を配置しますが、2年生以上は「いまここ学習室」を学習の場とする考えです。なお、今後については、市教委の指示にそって対応していきます。

### Q7 やはり子どもの登校が「心配」です。学校に行かせたくありません。

A そのお気持ち、よく分かります。本校としても、安心してお子さんを預けていただけるよう努めてまいりますが、感染の心配が100%なくなるということはありません。それぞれの保護者の方が不安を抱えていることでしょう。私たちは、「どこで折り合いをつけるか」という選択を迫られています。どうぞその“不安な気持ち”を学校にもお伝えいただければと思います。